

四日市版コミュニティスクール報告書（平成30年度総括）

四日市市立中央小学校

校長 門脇 寿美

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

地域・保護者とともに協働できる学校にするために様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、保護者や地域の方々の思いや願いが反映された学校づくりを推進します。

学校づくりビジョンの達成のために様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<学習活動の支援>



○補充学習での指導

夏季休業中の5日間、補充学習に取り組みました。一学期の学習の中で、苦手だったり理解が不十分だったりしたところの復習だけでなく、夏休みに乱れがちな生活リズムを整える意味でも効果的でした。今年度も学習を支援してくれる学生を地域の方からご紹介いただきました。



○大入道の見学

四日市祭りで大人気の大入道は毎年見学をさせていただいていますが、今年は新しく作った本物の1/5の模型(孫入道)を使って、保存会の皆さんから、からくりについて詳しく教えていただきました。大入道を操る大変さに子どもたちは驚き、大入道を守っていくのだという地域の方々熱意に触れ、伝統文化を継承していくことの意義を感じ取ったようでした。



○昔の暮らしについて

3年生はここ数年毎年のように、地域の方から昔の暮らしについての話を聞かせていただいています。火鉢、陶器でできた枕や湯たんぽ、炭火アイロン、蚊帳、分銅を使うはかりなど古い道具を学校まで運び、使い方など詳しく説明していただきました。子どもたちは、珍しい道具に触ったり使ってみたりと、嬉しそうに活動していました。



○まちかど博物館・鯨船の見学

大入道にかかわるグッズや、四日市市の昔のことがよくわかる様々なものをコレクションしているまちかど博物館へ見学に行った後、勢州組の鯨船を見せていただき、お祭りの話を聞きました。全員鯨船に載せてもらって大喜びでしたが、実際鯨船での演技の経験のある児童が、太鼓と掛け声に合わせて舞を見せてくれて、みんなの拍手を浴びていました。

<地域の伝統の継承>



○太鼓演奏指導

地域伝統の諏訪太鼓。児童にとって「6年生になれば演奏できる」、という憧れの姿でもあります。地域の子供会で毎年練習している児童と、初心者の子供の差もあり、指導は保存会をはじめとする地域の方に頼る部分が多い活動です。例年運動会が終わったころから練習を始め、その集大成として三泗小学校音楽会で演奏を披露しています。昨年度から揃え始めた学校

独自の袴を全員で着用し、一層連帯感を高めることができました。

<ボランティア活動>



○登校見守り

子どもたちが安全に登校できるように、地域の方が自主的に見守りを実施してくださっています。

子どもたちも一緒に話をしながら登校するのを楽しみにしているようで、安全を確保していただくだけでなく、日々の子どもたちの様子についてもお聞かせいただいています。



○図書ボランティア

保護者の方を中心に図書ボランティアとして活動していただいています。図書室の環境整備や読み聞かせだけでなく、さまざまな、楽しい企画を実施していただいています。今年度はうちわづくりを教えてくださいました。子どもたちは作ったうちわに、自分のお気に入りの物語を書き込んでいました。



○学習ボランティア

主に、保護者の方からご協力いただける方を募り子どもたちの学習活動の支援をしていただきました。実技系の学習では、個人差が大きく現れるので、教師以外の大人が複数で支援をしていただけることは、とても効果的でした。また、彫刻刀など刃物を使う授業もあるので、安全確保の観点からも大変ありがたい支援をいただきました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

保護者・地域の方々が、学校教育活動に参加していただく機会が増えることで、連携が深まってきています。見守り活動や、図書室の整備や特技を生かした読み聞かせなどで活躍いただく方も増えてきました。さらに、今年度は学習ボランティアとして授業の中で児童への支援をいただく等、地域の人材発掘も進めていただきました。

地域の様々な行事には多くの児童が参加しています。教育活動外でも多様な目で児童を見守っていただき、児童の気になる行動や環境の変化についてもすぐに情報をいただくことができ、早期対応につながっています。

学校自己評価アンケートについて、保護者の方からは「お子様は学校に喜んで通い楽しく生活できる」「中央小学校の教育に満足できる」という2項目に対し、97%を超える肯定的な評価をいただくことができています。

コミュニティスクールの指定は3年目となりましたが、新たに何かを行うというのではなく、地域と様々な形でつながりながら活動してきた従来の実践をより深められるよう心がけています。

3 今後に向けて

従来から、地域と子ども、地域と学校というつながりが大変密接で、地域ぐるみで子供を育てていこうという気風が根強くあります。学習活動や特別活動への支援、登校時の見守りなどの、様々なところで地域と学校が協働する場があり、多くの地域の方に協力をいただけてきました。学校自己評価アンケートにおける「学校は、保護者や地域の人々へ学習を公開したり、地域の人々に教えてもらったりする機会を設けている」の項目に対しては95%を超える肯定的な意見をいただいています。今後も、四日市市の中心部にあり、豊かな人・者・物にめぐまれているという本校の特性を生かした連携の在り方を構築していきたいと考えています。

そのためにも、コミュニティスクールの存在や活動を、地域・保護者により一層浸透させていくことが重要です。今後も、学校便りやHP等で積極的に発信していくことで保護者・地域からの理解が深まり、取組が地域全体のもとして広がり、学校教育に活かしていくことをめざしてまいります。

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立中央小学校
 委員長 鈴木 克匡
 校長 門脇 寿美

月	日	協議会の開催	活 動 内 容
4			
5	19 土	第1回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇鑑賞会参観 ・ビジョン承認、活動計画検討
6	8 金	第2回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観および講評
7			
8			
9	22 土		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会参観
10			
11	10 土	第3回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業・秋風音楽会参観および講評
12			
1	19 土	第4回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観および講評 ・来年度の活動について
2			
3	20 水		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式参列